様式第１７号（第７条関係）　　　　　　　　（案）

物件売買（修繕）請書

平成　　年　　月　　日

公立大学法人　秋田県立大学
理事長　　小　間　篤　様

住　　所
商号又は名称
氏　　名　　　　　　　　　　　印

次の物件の売買（修繕）について、公立大学法人秋田県立大学会計規程を遵守し、誠実に契約を履行することを誓約して、ここに請書を提出します。

１　契約金額　￥　０，０００，０００．－

２　物件名、規格、品質等

物件名	規格、品質	数量	単位	単価	金額	摘要
ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ質量分析装置一式	ｱｼﾞﾚﾝﾄTDS-6890/5973 仕様詳細は別紙仕様書の通り	1	式		0,000,000	
消費税及び地方消費税					000,000	
計					0,000,000	

３　納入期限　　平成２４年３月１６日

４　納入場所　　秋田県立大学本荘キャンパス

５　納入遅延の違約金　　当該遅延に係る物件の代金に納入期限の翌日から起算した遅延日数に応じ、年３．１パーセントの割合を乗じて計算した金額に相当する額とします。

６　支払条件　　納入後、適法な請求書を受理した日の属する月の翌月末までに代金を支払うものとします。

７　契約不履行に対する措置　　契約者がこの契約の条項を履行しないとき、又は履行する見込みがないと認められるときは、契約を解除されても異存はありません。

８　秘密の保持　　この契約業務の処理に際して知り得た秘密は他に漏らしません。
この契約に関わる個人情報については、別記「個人情報取扱特記事項」により取り扱いします。

９　損害賠償　　秘密の保持に関して情報漏洩などの事象を起こした場合は、損害賠償を求められても異存はありません。

個人情報取扱特記事項

（基本的事項）
第１　契約相手方（以下、乙とする。）は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約の業務の実施にあたっては個人の権利利益を侵害する　ことのないよう、個人情報の取り扱いを適正に行わなければならない。
（秘密の保持）
第２　乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報をみだりに他に漏らしてはならない。この契約による業務が終了し、又はこの契約が解除された後においても、同様とする。
（収集の制限）
第３　乙は、この契約による業務を行うために個人情報を収集するときは、業務を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
（適正管理）
第４　乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
（目的外利用及び提供の禁止）
第５　乙は、公立大学法人秋田県立大学（以下、甲とする。）の指示又は承認があるときを除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を契約の目的　以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。
（複写又は複製の禁止）
第６　乙は、甲の承認あるときを除き、この契約の業務を処理する為に甲から引き渡された個人情報が記録された資料等を複写し、複製し、又はこれらに類する行為をしてはならない。
（再委託の禁止）
第７　乙は、この契約による業務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、甲の承認があるときを除き、第三者にその取り扱いを委託又はこれに類する行為をしてはならない。
（資料等の返還等）
第８　乙は、この契約を処理するために甲から引き渡され、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、業務完了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示したときは、その指示に従うものとする。
（従事者への周知）
第９　乙は、この契約に従事している者に対して、在職中及び退職後においてもその業務に関して知り得た個人情報をみだりに漏らしてはならないこと、又は不当な目的に使用してはならないこと、その他個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。
（実地調査）
第10　甲は、必要があると認めたときは、乙がこの契約による業務の執行にあたり取り扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。
（事故発生時における報告）
第11　乙は、この特記事項に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

様式第2号(第3条)

「加熱脱着導入システム, ガスクロマトグラフ質量分析計」 仕様書

1	名称(機器名)	加熱脱着導入システム, ガスクロマトグラフ質量分析計
2	メーカー名	アジレントテクノロジー社製
3	型式(規格)	TDS-6890/5973
4	機器構成等内訳	加熱脱着導入システム:GERSTEL TDS A (アジレント・テクノロジー株式会社) 濃縮導入部:GERSTEL CIS 4 (アジレント・テクノロジー株式会社) ガスクロマトグラフ部:Agilent6890N GCシステム (アジレント・テクノロジー株式会社) 質量分析計部:Agilent5973MSD (アジレント・テクノロジー株式会社)
5	数　　量	一式
6	必要とする仕様	
	(1)	加熱脱着導入システム 方式:加熱脱着部と濃縮導入部とオートサプラーの3つで構成されていること 加熱脱着部 チューブ本数:自動分析数:20検体以上が対応可能なこと 加熱炉温度範囲, 昇温度速度:-50～400℃(室温以下は液体窒素冷却), 1～40℃/min 脱着モード:スピリット/スピリットレス トランスファーライン温度:50℃～400℃ 濃縮導入部 クライオフォーカス温度:～-150℃(液体窒素冷却) 急速加熱温度, 速度:～400℃, 0.5℃～12℃
	(2)	カラムオーブン 方式:強制熱風循環方式であること 温度範囲:室温＋4～450℃(1℃ステップ)を満たすこと プログラム段数:20段以上であること(昇温/降温プログラムが可能であること)
	(3)	試料注入口 方式:スピリットスピリットレス注入口とゲステル社製の加熱濃縮器と連結できる注入口であること 対応カラム:内径0.1～0.53mmのキャピラリーカラムが質量分析部に直結し, 分析可能なこと
	(4)	質量分析部 方式:四重極方式であること 分析管:プリロッド付金属製四重極であること 測定可能質量範囲:1.5～1090以上であること GC/MS接続:直結式であること イオン化法:Eiであること 感度(Ei):Scan S/N≧160(rms), 1pg OFN m/z272以上であること 感度(Ei):SIM S/N≧160(rms), 100fg OFN m/z272以上であること スキャン速度:10,000u/sec以上であること SIM数:64チャンネル×128グループ
	(5)	真空部 主ポンプ:イオン源部と質量分析部を独立して排気する差動排気システムであり, 容量は179L/sec+185L/sec以上であること 補助ポンプ:容量は30L/min以下であること
	(6)	データ処理装置 OS:WindowsXP Pro以上であること HDD:120GB以上であること メモリ:512MB以上であること ディスプレイ:17インチ以上であること
	(7)	GC/MSソフトウェア 使用言語:日本語(取扱説明書も日本語)であること 保持時間自動修正:保持指標を利用した保持時間の自動調整ができること 検索機能:マススペクトル類似度検索, 保持指標を用いた検索ができること
7	納入条件	
	(1) 搬入、据え付け、試運転、機器調整を行い、使用可能状態で引渡しすること。なお、これらに要する費用は納入業者の負担とする。 (2) 搬入、据え付け、試運転、機器調整等は事前に担当職員と協議すること。また、完了後は検査員の検収を受けること。 (3) 取扱説明、操作指導は担当職員の指定する日時に行うとともに、取扱説明書(日本語)を提出すること。 (4) 不用な梱包材等の撤去作業は、納入業者が行うこと。	
	納入場所	公立大学法人秋田県立大学
	納入期限	平成24年3月16日 (金)